

平成 21 年 3 月 9 日
株式会社電通
女子美術大学
武蔵野美術大学

電通、女子美術大学、武蔵野美術大学が共同で 「人権アート・プロジェクト」ポスター展を開催

株式会社電通（社長・高嶋達佳、本社・東京）、女子美術大学（学長・佐野ぬい、所在地・神奈川県相模原市、東京都杉並区）、武蔵野美術大学（学長・甲田洋二、所在地・東京都小平市）は共同で、人権をメッセージするポスターを紹介する「人権アート・プロジェクト」ポスター展を 3 月 16 日から電通汐留本社ビルにて開催します。

電通では 1988 年から毎年、社内啓発活動として、人権をテーマにしたショートメッセージ（人権スローガン）を社内で募集し、それをもとに社内クリエイターの手で人権ポスターを自主制作してきました。わかりやすく心に残る表現で人権を伝えるポスターとして社外での評判も高く、近年では自治体などから貸出しの依頼があり、全国の人権啓発の催しで利用されています。

この広告の手法を活用した人権ポスターの制作を社内活動にとどめず、社外の人との協働活動にしようという試みが、「人権アート・プロジェクト」です。

このプロジェクトは電通社内で募集した人権スローガンに、女子美術大学、武蔵野美術大学の学生がビジュアルデザインを考えて「人権ポスター」を作る活動です。2007 年に女子美術大学と電通との間で始まり、2008 年には武蔵野美術大学も加わりました。学生と電通のクリエイターで、アイデアやデザインの検討を重ねて制作していますが、2008 年は約 60 人の学生が参加し、約 70 点の作品が生まれました。

女子美術大学、武蔵野美術大学にとってこの活動は、アート制作を通して人権意識を養う場であり、アートが社会の中でできることを探求する場です。参加した学生からは「人権について自分なりのイメージが湧くようになった」「深く考えるきっかけになった」という感想が寄せられています。一方、電通にとってこの活動は、広告の仕事で培ったコミュニケーションスキルを社会の課題である人権のために役立てる CSR 活動として取り組んでいます。

今回のポスター展では、2008 年に学生が制作した人権ポスター約 70 点を一堂にご紹介します。ユーモアや洞察を含ませながら、自分の目線で人権を伝えようとする表現の数々を、ご覧いただければ幸いです。

女子美術大学 × 武蔵野美術大学 × 電通
「人権アート・プロジェクト」ポスター展

期間：2009 年 3 月 16 日（月）～ 4 月 3 日（金）
10:00～18:00 土日・祝日は休み 入場無料
会場：電通汐留本社ビル 2 階特設ギャラリー
〒105 - 7001 東京都港区東新橋 1-8-1

女子美術大学×電通 人権アート・プロジェクト（2008年）

担当教授：

女子美術大学芸術学部メディアアート学科 川口吾妻教授

女子美術大学短期大学部造形学科デザインコース 伊勢克也教授

講師を務めた電通社員：

アート・ディレクター、コピーライター、人権啓発担当の計4名

(参加学生40人、完成作品48点)

[共同制作の流れ]

2008年5月 オリエンテーション

基調講義「人権を伝える言葉とビジュアル」

障害者・女性・子どもなどをテーマにした11本の課題コピーを学生に提示。

2008年6月 ラフスケッチ検討～フィニッシュに向けてのデザイン検討会

2008年7月 女子美オープンキャンパスにて作品展示と公開講評会

2008年8月 東京都庁にて行われた法務省・東京都等主催「人権啓発フェスティバル」に参加し、ポスター展と活動報告シンポジウムを行った。

武蔵野美術大学×電通 人権アート・プロジェクト（2008年）

担当教授：

武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科 楫義明教授

講師を務めた電通社員：

クリエイティブ・ディレクター、アート・ディレクター、コピーライター、人権啓発担当の計6名

(参加学生18人、完成作品19点)

[共同制作の流れ]

2008年10月 オリエンテーション

基調講義「人権を伝える言葉とビジュアル」

特別講義「パブリックメッセージについて」

シンポジウム「電通 人権ポスターの発想法」

12本の課題コピーを学生に提示。

2008年11月 ラフスケッチ検討

2008年12月 作品プレゼンテーションと講評会

この件に関するお問合せ

株式会社電通 広報室広報部 03-6216-8041

女子美術大学 教学事務部G P担当 TEL 042-778-6144

武蔵野美術大学 芸術文化学科研究室 TEL 042-342-6712